

神奈川県立近代美術館 鎌倉別館 建築トーク&ツアー



鎌倉別館 2016年撮影 Photo: Keizo Kioku

神奈川県立近代美術館の二館目の建物として1984年に開館した鎌倉別館。

前川國男の下で神奈川県立図書館・音楽堂などを担当し、後にメタボリズム・グループの一員としても知られる建築家・大高正人による建築は、坂倉準三設計の旧鎌倉館と対照に、ヴォリューム感のある重厚なデザインが特徴的です。

開館から32年を経て、改修を予定している鎌倉別館について、建築史家の松隈洋氏を講師に迎え、大高建築の魅力や美術館としての改修のあり方についてお話しいただき、建物を見学します。

講師：松隈 洋 氏(京都工芸繊維大学教授)

日時：2016年11月27日(日) 午後3時～4時30分

場所：神奈川県立近代美術館 鎌倉別館

定員：20名(要申込、先着順)

* 参加無料(ただし「松本竣介 創造の原点」展の当日観覧券が必要です)

申込方法：

参加希望のイベント名、参加者全員の氏名、年齢、代表者の住所、電話番号、FAX番号、メールアドレスをご記入のうえ、FAX [0467-25-0035]、または神奈川県ウェブサイトの「近代美術館への問合せ」

フォーム(美術館ウェブサイトへリンクあり)からお申込ください。※FAXの誤送信にご注意ください。

[フォーム URL] <https://cgi.pref.kanagawa.jp/ques/questionnaire.php?openid=1180546245&check>



松隈 洋 (まつくま ひろし) 氏 略歴

1957年兵庫県生まれ。1980年京都大学工学部建築学科卒業、前川國男建築設計事務所入所。2000年4月京都工芸繊維大学助教授。2008年10月同教授、現在に至る。工学博士(東京大学)。専門は近代建築史、建築設計論。

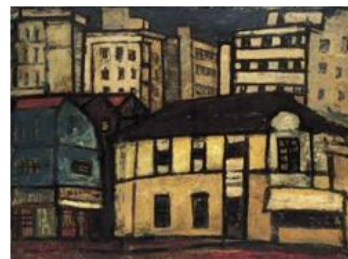
2013年より DOCOMOMO Japan 代表。文化庁国立近現代建築資料館運営委員。

著書に、『ルイス・カーン』、『近代建築を記憶する』、『坂倉準三とはだれか』、『残すべき建築』などがある。

松本竣介 創造の原点

2016年10月8日(土)～12月25日(日)

松本竣介《建物》
1935年 当館蔵



■ 休館日

月曜日(ただし10月10日は開館)

■ 開館時間

午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

■ 観覧料

一般 600円(団体500円) / 20歳未満・学生 450円(団体350円) / 65歳以上 300円 / 高校生 100円

・団体料金は20名様以上から適用されます。・中学生以下、障害者手帳等をお持ちの方(および介助者原則1名)は無料です。

・その他の割引につきましてはお問い合わせください。

■ 交通案内

JR横須賀線・江ノ島電鉄線「鎌倉」駅下車、鶴岡八幡宮・北鎌倉方面へ徒歩約15分、または鎌倉駅東口2番のりばから江ノ電バス(大船駅・上大岡駅・本郷駅行き、約5分)で「八幡宮裏」下車徒歩2分

■ 無料開館日

11月3日(木・祝)「文化の日」は、神奈川県立近代美術館で開催中の展覧会を無料で観覧いただけます。

お問合せ先

〒248-0005 鎌倉市雪ノ下2-8-1
Tel.: 0467-22-5000
<http://www.moma.pref.kanagawa.jp>

神奈川県立近代美術館 鎌倉別館
The Museum of Modern Art, Kamakura Annex

